

6/17-23 #5 義の冠としてのキリストの王国の褒賞を受けるBird's Eye View 私たちはキリストを私たちの王国の褒賞として享受するために、主の出現を愛して(慕って)いなければなりません。主の出現とは、今日私たちに対する彼の出現また現れであり、また彼の再来の時に彼の民と共にある彼の臨在です。この事は、狭められた道にとどまり、命において目を覚まし、奉仕において忠信であり、キリストの花嫁として構成されることによってです。2テモ4:1 私は神の御前と、...キリスト・イエスの御前で、彼の出現と彼の王国によって、厳かにあなたに命じます。7 私は良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。8 今からは、義の冠が私のために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。A主の出現を愛することと主ご自身を愛することは、分けることができません。B2テモテ3:2-5に提示されている、衰退したキリスト教の預言的な絵には、四種類の特定の愛する者が述べられています。それは、自己を愛する者、金銭を愛する者、快楽を愛する者、神を愛する者です。人がどのような種類の愛する者であっても、人の心全体、さらには全存在は、その人が愛するものの上に置かれ、またそれによって占領され、占有されます。これは極めて重要です。C召会の勝利における栄光の日がもたらされるか、召会の衰退の悲しむべき日々がもたらされるかは、完全に、私たちが何を愛する者であるかにかかっています。歴史は、召会の衰退の根源が主に対する初めの愛を失ったことにあると告げています。D私たちは召会の勝利の標準を維持するために、神を愛する者となって神のエコノミーを成就しなければなりません。主はご自身を愛する者たちに、命の冠を与えることと王国を相続することを約束しています。ヤコブ1:12 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、試されて良しと認められた者は、主がご自身を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。2:5 私の愛する兄弟たちよ、よく聞きなさい。神はこの世の貧しい人たちを選んで、信仰において富む者とし、またご自身を愛する人たちに約束された王国の相続人とされたのではありませんか? E朽ちない冠は、栄光と美の象徴であり、主の救いに加えて、クリスチャンのレースの勝者に賞として与えられます。1この賞は、義のものであり、働きを通してのものであって、救いのように、恵みのものでも、信仰によるものでもありません。2義の冠が褒賞として与えられるのは、主の恵みにしたがってではなく、主の義にしたがってです。義の冠を褒賞として与える方は、義なる審判者としての主です。F私たちは、

次の時代に義の冠としてのキリストを褒賞として与えられるために、この時代に彼を私たちの主観的な生かし出された義として経験し、享受しなければなりません。ピリピ3:9 そして、キリストの中に見いだされるためです。それは、律法に基づく私自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って。Aキリストが信者たちに与えられた義であることには二つの面があります。1キリストは私たちの客観的な義であり、それは私たちが神へと悔い改め、キリストの中へと信じた時に、神の御前で義とされるためです。ローマ3:24 無代価で、彼の恵みにより、キリスト・イエスにある贖いを通して、義とされるからです。2キリストはまた私たちの主観的な義であり、それはキリストを生かし出すこと、またキリストの真の表現であって、キリストを生きることによって神を表現している超越した状態です。B義のこれら二つの面は、詩篇45:13-14にある王妃の二つの衣によって予表されています: 詩45:13 王の娘は王の住まいの内において栄光を極め、彼女の衣は織った物であり、金が織り込まれています。14 彼女は刺繍された着物を着て王の所に導かれ...1一つの衣は客観的な義に相当し、それは私たちの救いのためです—「彼女の衣は織った物であり、金が織り込まれています」(13b)。aこれが表徴するのは、多くの苦難を通してまた死と復活を通して対処されたキリストが、召会の義となって、神の義の要求を満たし、召会が神の御前に義とされるということです。b王妃が金で覆われていることは、召会が神聖な性質において現れることを表徴します。2もう一つの衣は主観的な義に相当し、それは私たちの勝利のためです—「彼女は刺繍された着物を着て王の所に導かれ...ます」(14a)。a勝利を得た信者たちはキリストの団体の王妃であり、キリストを彼らの王の住まいとし、キリストの中に見いだされ、キリストは彼らの主観的な義となります。bもう一つの衣であるこの刺繍された着物は、王妃の第二層のおおいです。この事が表徴するのは、召会が婚姻の時にキリストの所に導かれ、召会が聖徒たちが行なった義を着て、キリストの要求を満たし、彼らが結婚するということです。c刺繍された着物は、主観的なキリストであって、このキリストは、私たちの性格の中へと織り込まれ、私たちの存在の中へと刺繍し込まれて、私たちが生かし出す義となります。dこの刺繍は、聖霊の造り変える働きを表徴します。聖霊は日ごとに働いて、キリストを一針一針私たちの中へと刺繍し込みつつあり、私たちの婚宴の礼服となります。e回復された後に墮落した召会は、代価を払って、主観的な義としてのキリストを生き、神が良しとする行為としてのキリストを着せられる必要があります。

III主は私を...彼の天的王国へと救ってくださいます

(2テモ4:18) **A**天的王国は、義の冠と等しく、「彼らの父の王国」、「私の父の王国」、「キリストと神との王国」、「私たちの主また救い主イエス・キリストの永遠の王国」であって、それは勝利を得た聖徒たちへの褒賞となります。**B**勝利を得た信者たちは、天的王国、すなわち天の王国の実現にあずかります:マタイ7:21 私に向かって「主よ、主よ」と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが...**1**勝利者は「義人」、王国の子たちであって、彼らの御父の王国で太陽のように輝きます。13:43 その時、義人は彼らの父の王国で太陽のように輝く。**2**天的王国で、勝利者は彼らの主と共に、新契約の杯を新しく飲みます。**3**勝利を得た信者たちは彼らの御父の王国で、旧約の勝利者たちと共に食卓に着きます。**4**勝利者にとって、天的王国は喜びをもって受け継ぐ嗣業となります。**5**天的王国で、勝利者は永遠の命を受け継ぎ、こうして神聖な命のさらに満ち満ちた享受を持ちます。**6**天的王国で、勝利者は主の喜びの中に入り、こうして彼らの魂を得て、彼らの魂を救い、彼らの魂の救いを享受します。マタイ25:21 よくやった、良い忠信な奴隷よ。あなたはわずかな事柄に忠信であった。私はあなたに多くの事柄を管理させよう。あなたの主人の喜びの中に入りなさい。啓20:6 第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である。これらの人々に対して、第二の死は何の権威もない。彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する。**7**天的王国で、勝利を得た信者たちはキリストと共に王として支配し、諸国民を治めます。**CP1**再来の時、主は義なる裁き主として来られることを認識し、今日、目を覚まして準備する

I私たちはキリストを私たちの王国の褒賞として享受するために、主の出現を愛して(慕って)いなければなりません。主の出現とは、今日私たちに対する彼の出現また現れであり、また彼の再来の時に彼の民と共にある彼の臨在です。この事は、狭められた道にとどまり、命において目を覚まし、奉仕において忠信であり、キリストの花嫁として構成されることによります。2テモ4:7 私は良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。**8**今からは、義の冠が私のために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。**D**私たちは召会の勝利の標準を維持するために、神を愛する者となって神のエコノミーを成就しなければなりません。主はご自身を愛する者たちに、命の冠を与えることと王国を相続することを

約束しています。ヤコブ1:12 試練を耐え忍ぶ人は幸いです。なぜなら、試されて良しと認められた者は、主がご自身を愛する者たちに約束された命の冠を受けるからです。2:5 私の愛する兄弟たちよ、よく聞きなさい。神はこの世の貧しい人々を選んで、信仰において富む者とし、またご自身を愛する人々に約束された王国の相続人とされたのではありませんか? **E**朽ちない冠は、栄光と美の象徴であり、主の救いに加えて、クリスチャンのレースの勝者に賞として与えられます。**1**この賞は、義のものであり、働きを通してのものであって、救いのように、恵みのものでも、信仰によるものでもありません。**2**義の冠が褒賞として与えられるのは、主の恵みにしたがってではなく、主の義にしたがってです。義の冠を褒賞として与える方は、義なる審判者としての主です。

パウロが確信していた義の冠は、予防注射する者に対する奨励です。私たちが真理の健康な言葉に忠信であるなら、また忠信な予防注射する者となって、神聖な予防注射の成分を今日のクリスチャンの中へと分与し、彼らが真理の全き知識に戻るようにするなら、この褒賞は主の出現の時私たちに与えられるでしょう。これは、私たちが主の務めに忠信であるなら、義の冠を私たちの褒賞として受けることを意味します。

今日クリスチャンの間では、主の再来に関して多くの話があります。しかし、主イエスが戻って来るとき、あわれみ深い神として、あるいは恵み深い救い主としてではなく、義なる裁き主として来られることを認識している信者は多くありません。クリスチャンは、自らを準備してこの裁き主の御前に立つようと警告され、励まされるべきです。

適用:青少年・大学生、新人編

証1主の再来を待ち望むメッセージを聞いた時、自分も主の再来を待ち望む者となる願いを持ちました。しかし、自分の中ではもう少し待ってほしいという気持ちもありました。まだまだ準備が足りないと思いました。主は再来する時、義なる裁き主として来られます。ですので、日々この警告を受けて、励まされ、前進する必要があります。今、召会でライフスタディの通読の実行があり、この実行を通して、更に真理で装備され、キリストの花嫁として構成されることを願います。

証2余力兄弟から、召会生活の中で、主の臨在が無ければ何も無いと言われ、自分も主の臨在があるように祈り求めました。ある日、福音に行くため電車に乗っていったとき、乳児を連れのお母さんに席を譲りました。その時、内側から、彼女と連絡をとるようにとの感覚がありました。一瞬戸惑

い、「今席を譲ったばかりで、他の人も見ているし、聞きづらいです。もうすぐ降りる駅に着くから時間がありません」と主にいい訳を言いました。それに対し主は、「これを逃したら彼女はもう福音を聞く機会がありません。あなたは後悔しませんか?」と言われました。下車駅に着く間際だったので、私は彼女の手に分の電話番号を書き、「この電話をあなたの携帯電話に登録してください」と言って電車を降りました。私は主から言われたことは果たしたので、後は主に任せることができると思いました。その後すぐ、彼女から、「登録しました。ありがとうございました」と連絡がありました。私は主からの語りかけに従ったので、すっきりした気持ちで福音することができました。その後、彼女を子供集會に誘いました。彼女は来てくれて福音を宣べ伝えることができました。日々の生活の中で主の現れがあります。主の出現を愛する人は、油塗りに従う必要があると感じました。

祈り おお主イエスよ、主は再び来られます。主の出現を愛し、慕う者は、キリストを王国の褒賞として享受することができます。将来の主の出現のために、今、準備をする必要があります。狭い道にとどまり、命において目を覚まし、奉仕において忠信である者にならせてください。主の出現を愛し、油塗りに従います。

CP2 不義、偽りを対処し、造り変えられ、刺繍された着物を着て、キリストの義を主観的に生かし出す

II 私たちは、次の時代に義の冠としてのキリストを褒賞として与えられるために、この時代に彼を私たちの主観的な生かし出された義として経験し、享受しなければなりません **ピリ3:9** そして、キリストの中

に見いだされるためです。それは、律法に基づく私自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って。**A**キリストが信者たちに与えられた義であることには二つの面があります。**B**義のこれら二つの面は、詩篇45:13-14にある王妃の二つの衣によって予表されています:**詩45:13** 王の娘は王の住まいの内において栄光を極め、彼女の衣は織った物であり、金が織り込まれています。**14** 彼女は刺繍された着物を着て王の所に導かれ…**1**一つの衣は客観的な義に相当し、それは私たちの救いのためです—「彼女の衣は織った物であり、金が織り込まれています」(13b)**a**これが表徴するのは、多くの苦難を通してまた死と復活を通して対処されたキリストが、召會の義となって、神の義の要求を満たし、召會が神の御前に義とされるということです。**b**王妃が金で覆われていることは、召會が神聖な性質において現れることを表徴します。**2**もう一つの衣は

主観的な義に相当し、それは私たちの勝利のためです—「彼女は刺繍された着物を着て王の所に導かれ…ます」(14a)**a**勝利を得た信者たちはキリストの団体の王妃であり、キリストを彼らの王の住まいとし、キリストの中に見いだされ、キリストは彼らの主観的な義となります。**b**もう一つの衣であるこの刺繍された着物は、王妃の第二層のおおいです。この事が表徴するのは、召會が婚姻の時にキリストの所に導かれ、召會が、聖徒たちが行なった義を着て、キリストの要求を満たし、彼らが結婚することです。**c**刺繍された着物は、主観的なキリストであって、このキリストは、私たちの性格の中へと織り込まれ、私たちの存在の中へと刺繍し込まれて、私たちが生かし出す義となります。**d**この刺繍は、聖靈の造り変える働きを表徴します。聖靈は日ごとに働いて、キリストを一針一針私たちの中へと刺繍し込みつつあり、私たちの婚宴の礼服となります。**e**回復された後に墮落した召會は、代価を払って、主観的な義としてのキリストを生き、神が良しとする行為としてのキリストを着せられる必要があります。

私たちは第一の衣を持っていますが、私たちの第二の衣は今、聖靈の刺繍する働きの下で用意されつつあります。この衣は私たちに、彼の裁きの座でキリストにまみえる資格を与えるでしょう。日ごとに、私たちは聖靈の針、造り変えの下にあります。私たちは何とこの第二の衣を必要とすることでしょう!これは厳粛な事柄です。

しかしながら、この事柄がこれほど厳粛であるのに、ほとんどのクリスチャンは第一の衣しか顧慮しません。ある人は、「私たちは義とされ、贖われ、救われている限り、万事は良い」とさえ言います。これに聞き入ってはなりません。救いに関する限り、あなたは良いでしょうが、褒賞についてはどうでしょうか? あなたは義認だけでなく、是認も必要とします。あなたがキリストの裁きの座の前に出る時、彼はあなたを是認されるでしょうか?

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

証 私は信者が義を表す生活をするので、以下の聖書から助けを受けました。**マタイ5:20** 私はあなたがたに言う。あなたがたの義が聖書学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、あなたがたは決して天の王国に入ることはない。**F1**この義は、客観的な義のことを言っているだけではありません。それは、私たちが信じた時に受けたキリストであり、こうして私たちは神の御前に義とされます。この義はそれにもまして、主観的な義のことを言っています。それは、私たちの義として、私たちが生かし出された内住のキリストです。...私たちの天然の命には、この卓越した義を得る力はありません。

ません。それはさらに高い命、キリストの復活の命によってのみ生み出されます。この義は、婚宴の衣服にたとえられており、私たちが小羊の婚宴にあずかり、天の王国の出現の時にそれを受け継ぐ、将来、天の王国に入るよう資格づけます。

この聖書を読んで、内住のキリストを生かし出す方法で、義を生きる願いを持ちました。この願いを持つようになると、主は私が人との会話において、ごまかすために、いい加減なことを発言しており、誠実でないことを照らしてくださいました。1コリント2:10 神は私たちに、その霊を通してそれらを啓示されました。その霊はすべての事柄、神の深みさえも探られるからです。私が祈りながらこのことを考慮していた時、その霊が私の内側を探ってくださいだったので、私の会話には、いつも多くの嘘があることを暴露してくださいました。そして、このような真実でない会話は、自分の決心では対処できず、その霊の造り変えが必要であることが分かりました。私は次のような祈りを度々しました、「主イエスよ、私は罪で構成された罪人です。私には良い物は何もありません。私は意識的に、或いは無意識に嘘をついています。悪い意図がなくても、主の光の中でそれらは嘘にすぎません。また、私は決心してこの悪い習慣を直すことができません。思いを肉に付けるのではなく、霊に付けます。あなたに開き、あなたに向きを変え、あなたを見つめます。主よ、私の魂の各部分、思い、感情、意志を徐々に造り変えてください」。

主に感謝します。このような祈りと主を見つめることを通して、私は日常生活で嘘をつくと直ぐに気付くようになり、直ぐに悔い改めて罪を告白しました。少しずつ、真実に語るできるようになり、会話に重みがあるようになりました。エペソ4:25 そういうわけで、偽りを脱ぎ捨て、おのおのその隣人と共に真実を語りなさい。27 また、悪魔に所を得させてはいけません。特に、ビジネス上、厚生労働省の幹部、米国本社役員などとのコミュニケーションにおいて、主は私の誠実で、嘘のない会話を用いて、多くの窮地を乗り越えさせてくださいました。会話において嘘をつかないことは、信者が義を生かし出すことの一面だと思います。

祈り おお主イエスよ、私の義として、内住のキリストを生かし出す必要がありますが、私の生活には義が生かし出されていません。私の気づいていない偽り、ごまかし、自分を義とすることを照らしてください。照らされた罪を一つ一つ告白し、キリストの義を主観的に生かし出す者としてください。徐々に真実を語る者へと造り変えられ、聖霊によって刺繍された着物を着ることができるよう。

神戸に在る召会交わりと報告事項

- 1. 大阪・桃谷訪問ブレンディング:**
6/22(土)各地区9:00出発、14:30頃戻る車で行きます。車代は1人500円です。時間を贖い取り、ぜひ近隣の諸召会とのブレンディングに参加しましょう！
- 2. 朝毎の食物進捗について:**
国際華語特別集会の次は、4月ITEROの内容を追求します。全8メッセージの内、#1、2、5、7の4メッセージを追求します。
- 3. 2024年SST(真理のサマースクール):**
8/12(月)-17(土)東京基臨ビルで行われます。申し込み締切は6/30(主)まで延長になりました。現在神戸からは12名の青少年が申し込んでいます。若者たちが時間を聖別して、真理の中に入り込み、仲間たちと共に主をエンジョイすることができるように兄弟姉妹お祈りください。
- 4. 姉妹集会:毎週水曜**
新人や友人が来やすくなるように、また、姉妹たちのブレンディングや、からだの機能がさらに引き上げられるために以下のように集会の時間を変更しました。

10:00-30	追求
10:30-40	詩歌賛美
10:40-11:30	福音もしくは訪問
11:30-12:15	詩歌エンジョイ(録音)

その後も残りたい姉妹たちは、お昼を持参してブレンディングすることもできます。**今後のスケジュール**

6/19	魚崎
6/26	三宮・神戸
7/3	西宮・夙川
- 5. 福音の枠組み:**
第一大地区

本山…	金曜日10:30-12:30
魚崎…	火曜日13:00-15:00
夙川…	第一と第三水曜日17:00-19:00

第二大地区

六甲…	木曜日15:00-17:00
三宮・神戸…	土曜日15:00-17:00